

令和7年度 公立学校教員採用候補者選考試験問題

小 学 校

1 / 17 枚中

注意 ・答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。  
・本問題では、小学校学習指導要領（平成29年告示）を「指導要領」、小学校学習指導要領（平成29年告示）解説を「指導要領解説」とする。

第1問題 国語科について、次の問に答えよ。

問1 指導要領「第2章 第1節 国語 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕2 内容〔知識及び技能〕(1)オ」に「語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。」とある。この指導の際に児童に提示する熟語「耕具」の構成として最も適切なものを、次のA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

- A 似た意味を表す漢字を組み合わせたもの
- B 意味が対になる漢字を組み合わせたもの
- C 左の漢字が右の漢字を修飾しているもの
- D 左の漢字が動作や作用を表し、右の漢字がその対象を表すもの

問2 指導要領「第2章 第1節 国語 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕B 書くこと (1)ウ」に「事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。」とある。この指導の際に児童に提示する次の文章の下線部A～Dのうち、書き手が「事実」として述べているものとして最も適切なもの一つを選び、記号で答えよ。

A 川土手に花がたくさん植えられています。 B おそらく近くの住民が植えたのでしょう。 C 去年は植えられていなかったと思います。 D 美しい花々によって、川土手を歩く人々の心はきっと明るくなることでしょう。

問3 指導要領では、「第2章 第1節 国語 第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕2 内容〔知識及び技能〕(1)カ」に「指示する語句」（いわゆる「こ・そ・あ・ど言葉」）の「役割について理解すること」について述べられている。次の文章中から、「指示する語句」をすべて答えよ。

「君、ちょうどいい。ここはこれでなかなか開けてるんだ。入ろうじゃないか。」  
「おや、こんなところにおかしいね。しかしとにかく何か食事ができるんだろう。」  
「もちろんできるさ。看板にそう書いてあるじゃないか。」

（宮沢賢治「注文の多い料理店」 「新しい国語 五」東京書籍）

問4 次は、児童の書いた作文の中の一文である。この一文を正しく記せ。ただし、「短所は、」はそのままにして、文の意味が変わらないようにすること。

短所は、部屋をあまりかたづけません。

問5 第5学年で、学校生活をよりよいものにするために周りの人たちに提案する文章（以下、提案文）を書き、提案文に対する感想や意見を伝え合う学習を行った。資料1は児童Aが書いた提案文、資料2は資料1のよさについて発表する授業場面の記録である。資料1・2を読み、後の(1)～(3)に答えよ。

資料1

<p>段落④</p> <p>ぼくが提案したい「読み終わった本は、必ずもとの場所へもどす。」ということは、本来ならあたりまえのことです。あたりまえに思えることを積み重ねていくことで、ぼくたちの学校は、今よりも過ごしやすくなると思います。</p>	<p>段落③</p> <p>図書館の本は、使う人が本を見つけやすいように、分類・整理されています。しかし、全くちがうところに置かれてしまつては、すぐに見つけることができません。次に読む人のことを考えて、もとの場所にきちんともどすべきではないでしょうか。</p>	<p>段落②</p> <p>図書館の本は、使う人が本を見つけやすいように、分類・整理されています。しかし、全くちがうところに置かれてしまつては、すぐに見つけることができません。次に読む人のことを考えて、もとの場所にきちんともどすべきではないでしょうか。</p>	<p>段落①</p> <p>読み終わった本は、必ずもとの場所へもどそう 名前 児童A</p> <p>ぼくが学校の中で好きな場所は、図書館です。もともと、物語を読むのが好きというところもありますが、本を使って何かを調べることも好きだからです。そんな図書館の使い方について、ぼくからみなさんに提案があります。それは、「読み終わった本は、必ずもとの場所へもどす。」ということです。先日、ぼくは読みたい本を図書館に借りに行きました。たなをさがしたのですが、見つかりません。だれかが借りているのかなと思ひ、司書の先生にきいてみたら、だれも借りてはいないとのことでした。おかしいな、と思つて、いろいろなたなをさがしたところ、全くちがうたなにあるのを見つけました。その時ぼくは、本が正しい場所にもどされていれば、こんなにこまらなかつたのに、と残念に思いました。ぼくは、ほかにもちがう場所にある本がないか、さがしてみました。すると、そういった本が、ほかにも何冊かあるのを見つけたのです。</p>
---	--	--	---

(「ひろがる言葉 小学国語 五下」教育出版)

資料2

児童B：Aさんの提案文のよさについて、発表しましょう。

児童C：「かぎ（かぎかっこ）」を使うことで、読み終わった本は、必ずもとの場所へもどすという提案を強調しています。

児童D：段落④で、もう一度提案が書かれているから、みんなに取り組んでほしいことがはっきりと伝わります。

児童E：段落①で、提案のきっかけになったできごとを書くことで、どうして提案したいのかがよくわかります。

児童B：Aさん、みんなの発表を聞いてどう思いましたか。

児童A：ぼくの提案文のよいところが具体的にわかりました。今後、他の提案文を書くときに参考にします。

(「ひろがる言葉 小学国語 五下」教育出版)

- 資料1の段落①の傍線部「ぼくが学校の中で好きな場所は、図書館です。」について、その理由が書かれている一文の初めの三字を答えよ。
- 資料2の児童C～Eの発言のうち、資料1の内容にあてはまらないのはどの児童の発言か。C～Eから一つ選び、記号で答えよ。

(3) この学習の指導事項は、指導要領「第2章 第1節 国語 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕B 書くこと (1)カ」に示されている「文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。」である。これは「書くこと」のどの学習過程にあたるか。次のA～Eから最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

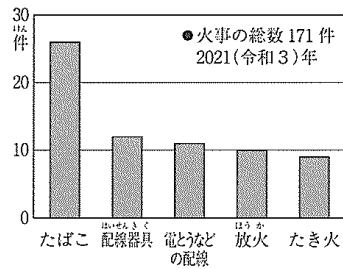
- A 構成の検討
- B 題材の設定、情報の収集、内容の検討
- C 共有
- D 推敲
- E 考えの形成、記述

問6 指導要領「第2章 第1節 国語 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕2 内容〔知識及び技能〕(3)ウ(イ)」に「点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。」とある。一般に通用している常識的な筆順「横から縦へ」を指導する場合、例として取り上げる漢字で適切なものをA～Fから二つ選び、記号で答えよ。

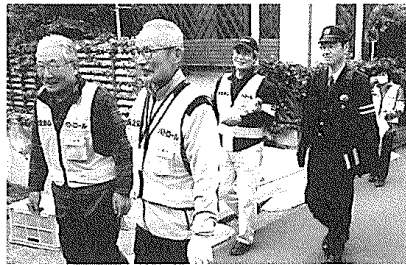
- A 十      B 上      C 点      D 土      E 田      F 右

第2問題 社会科について、次の問に答えよ。

問1 第3学年の「くらしを守る」の学習を行った。関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを指導する際に適切な資料を、A～Dから二つ選び、記号で答えよ。



A 火事の原因別の数のグラフ



B パトロールをする地域の人



C 消火訓練をする人



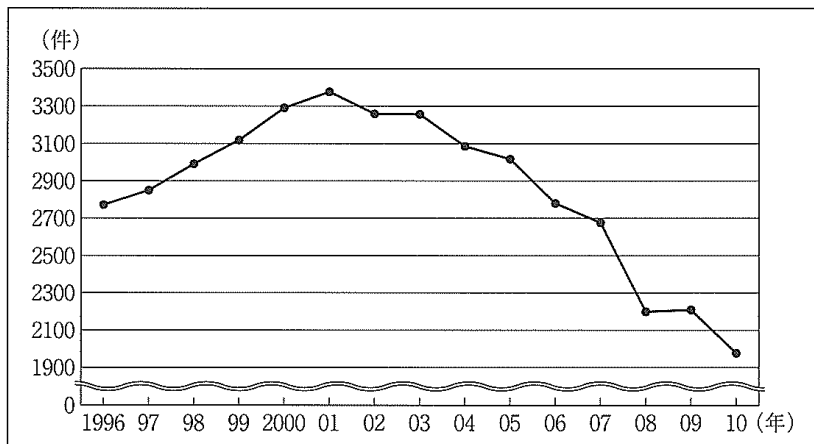
D 交通取り締まりの写真

問2 火災が起きた際に通信指令室から連絡が入る施設を、警察署と消防署以外に二つ答えよ。

問3 警察署と消防署の地図記号を答えよ。

問4 次の資料3は事故の防止について学習した際に使用した資料であり、資料4はその授業における教師の発問と児童の発言の様子である。後の(1)に答えよ。

資料3 鳥根県の交通事故の数



## 資料4

教師 : 資料から気がついたことや、疑問に思ったことを発表しましょう。

児童A : 2001年が交通事故の数が一番多いと思います。

児童B : 1996年から事故の数が増えて、2001年から後、事故の数は減ってきています。

児童C : どうして事故の数は減ってきているのかなあ。

(略)

教師 : グラフは2010年で終わっているけれど、この後交通事故の数はどうなっていったと思いますか。

- (1) それぞれの児童の発言の特徴や教師の後半の発問の意図について、～にあてはまる語を、A～Gから選んで記号で答えよ。

児童Aが資料のグラフのに着目して発言しているのに対して、児童Bは資料の全体的な傾向をとらえて発言しており、児童Cは資料に表されている事柄のについて疑問に思ったことを発言している。

また、教師は、グラフのその後のを予想させることによって、次の課題につなげようとしている。

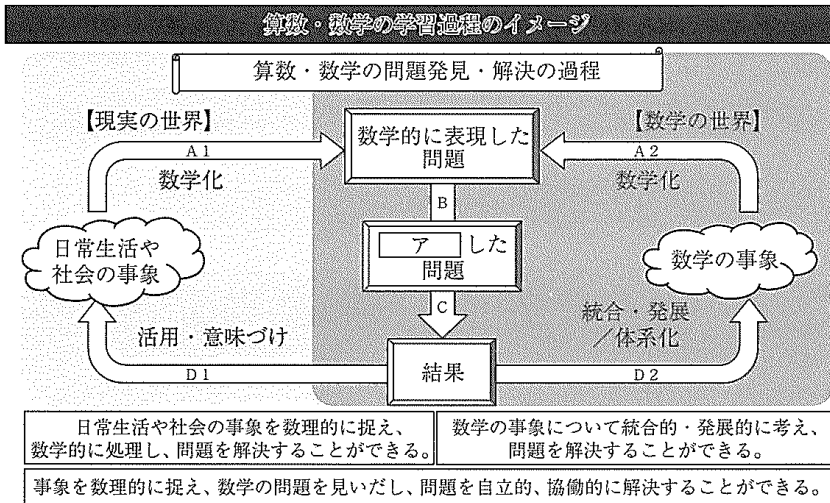
A 平均値    B 最大値    C 始まり    D 原因    E 根拠    F 変化    G 結末

第3問題 算数科について、次の問に答えよ。

問1 次の(1)、(2)に答えよ。

- (1) 算数科の学習では、言葉による表現とともに、式など数学的な表現方法を生かして問題を解決したり、思考の過程や結果を説明したりする。式以外の数学的な表現方法を三つ答えよ。
- (2) 資料5は、中央教育審議会答申で示された「算数・数学の学習過程のイメージ」の図である。[ア]にあてはまる語を、A～Dから一つ選び、記号で答えよ。

資料5 算数・数学の学習過程のイメージ図



※各場面で、言語活動を充実  
 ※これらの過程は、自立的に、時に協働的に行い、それぞれに主体的に取り組めるようにする。  
 ※それぞれの過程を振り返り、評価・改善することができるようにする。

- A 抽象化      B 具体化      C 簡略化      D 焦点化

問2 資料6は、宅配便のサイズ表とサイズの大きさの測り方を示している。後の(1)、(2)に答えよ。

資料6 宅配便のサイズ表とサイズの大きさの測り方

サイズ表

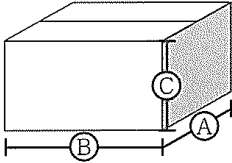
縦・横・高さの3辺の合計の大きさと重量を比較し、大きい方のサイズの扱いになる。

サイズ	荷物の大きさ	重さ	A地方への料金
60サイズ	60cm 以内	2 kg まで	950 円
80サイズ	80cm 以内	5 kg まで	1250 円
100サイズ	100cm 以内	10kg まで	1550 円
120サイズ	120cm 以内	15kg まで	1850 円
140サイズ	140cm 以内	20kg まで	2200 円
160サイズ	160cm 以内	25kg まで	2520 円
180サイズ	180cm 以内	30kg まで	3070 円
200サイズ	200cm 以内	30kg まで	3720 円

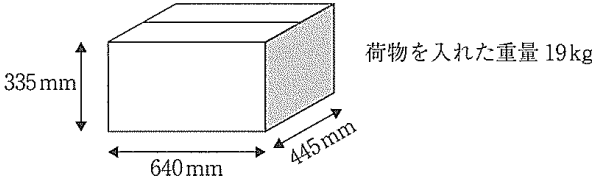
サイズの大きさの測り方

荷物の大きさ (cm) は、縦・横・高さの合計である。

$A+B+C = \text{荷物の大きさ}$



(1) 次の荷物の宅配便の料金を求めるためには、荷物のサイズを測る必要がある。サイズの大きさを簡易に測る道具として、最も適切なものを下のA～Cから一つ選び、記号で答えよ。

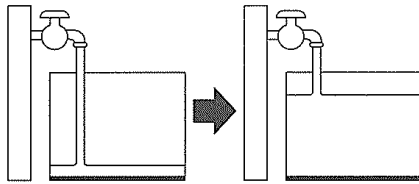


- A 30cm ものさし      B 1m ものさし      C まきじゃく

(2) (1) の道具を使う理由を答えよ。

問3 資料7は、直方体の水槽に水を入れるときの「水の量と全体の重さ」及び「水を入れる時間と水の深さ」の関係、資料8は、「水の量と全体の重さ」の関係について考えている授業場面の記録である。後の(1)～(3)に答えよ。

資料7



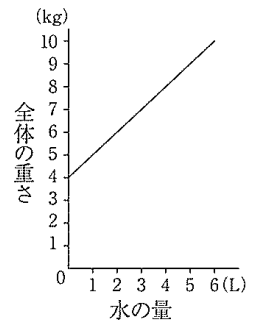
(水槽には、水を一定の量で入れている)

水槽の水を1Lずつ増やしたときの、全体の重さ

水の量 (L)	1	2	3	4	5	6
全体の重さ (kg)	5	6	7	8	9	10

水を入れる時間と水の深さ

水を入れる時間(分)	0	3	6
水の深さ (cm)	0	7	14



資料8 授業場面の記録

教師 : 水の量と全体の重さは比例しているといえますか。

児童A : (全体の重さ) - (水の量) = (決まった数) になっているから比例していると思います。

児童B : 水の量と全体の重さの関係を表すグラフが直線になっているので比例していると思います。

児童C : 水の量が2倍、3倍になっても、それともなって全体の重さが2倍、3倍になっていないので比例していないと思います。

児童D : 水の量が1Lずつ増えていくときに、それともなって全体の重さも1kgずつ増えていても、比例しているとはいえません。

(1) 水の量と全体の重さは「比例している」か「比例していない」か、正しい方を○で囲め。

(2) (1)の理由を、児童A～Dの発言から一つ選び、記号で答えよ。

(3) 次に、「3分間で水の深さが7cmになるとき、15分間水を入れると水の深さが何cmになるか」を考えた。児童EとFは、次のように求めた。児童Eを参考にして、児童Fの式と説明の続きを完成させよ。

児童Eの求め方

<p>式：<math>7 \div 3 = \frac{7}{3}</math> <math>\frac{7}{3} \times 15 = 35</math></p> <p style="text-align: right;">答え 35cm</p>	<p>説明： はじめに1分間水を入れたときの水の深さを求めます。 15分間水を入れたときの水の深さは、その15こ分なので、35cmになります。</p>
--	---

児童Fの求め方

<p>式：<math>15 \div</math></p> <p style="text-align: right;">答え _____ cm</p>	<p>説明： 水を入れる時間と水の深さは比例するので、</p>
---	-------------------------------------



第4問題 理科について、次の問に答えよ。

問1 次の(1)、(2)に答えよ。

(1) 日光の当たる場所と当たらない場所にインゲンマメの種子を置き、インゲンマメの発芽について調べる実験をする。  
実験結果とそれを根拠とした結論を簡潔に記せ。

(2) インゲンマメの子葉の役割を調べるため、発芽前の種子の子葉と発芽してしばらくたった後の子葉を割り、ヨウ素液をかけた。図1はその実験の様子を示している。結果と結論の組み合わせとして適切なものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

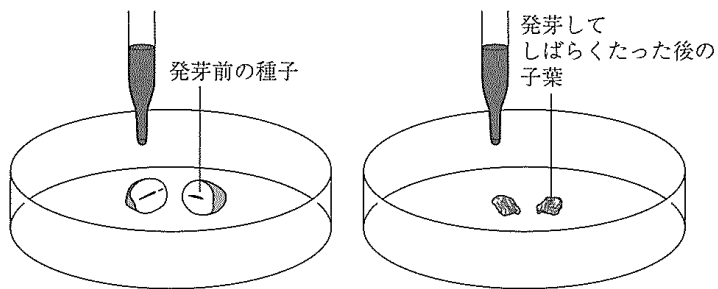


図1

- A 発芽前は薄い青紫色、発芽後は薄い褐色になったので、発芽によりでんぷんがつけられたといえる。
- B 発芽前は薄い褐色、発芽後は薄い青紫色になったので、発芽によりでんぷんがつけられたといえる。
- C 発芽前は薄い青紫色、発芽後は薄い褐色になったので、発芽によりでんぷんが使われたといえる。
- D 発芽前は薄い褐色、発芽後は薄い青紫色になったので、発芽によりでんぷんが使われたといえる。

問2 次の(1)～(3)に答えよ。

(1) 図2のように、食塩を水に溶かすと見えなくなった様子を見て、「食塩が見えなくなったから、溶かす前の水と食塩を合わせた重さより少し軽くなったと思う。」と話した児童の考えを受けて、食塩を溶かす前後の重さをはかることにした。食塩を溶かした水溶液は、実験前の水と食塩を合わせた重さと比べてどのようなになるか、最も適切なものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

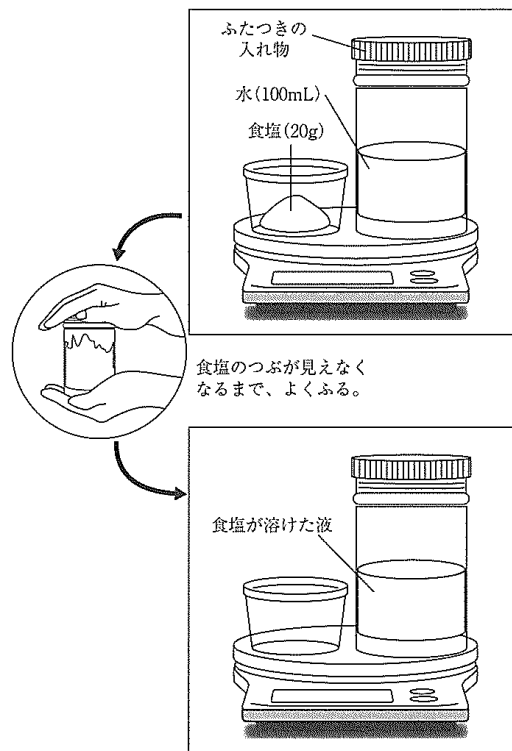


図2

- A 溶かす前より少し重くなる。
- B 溶かす前と同じ重さになる。
- C 溶かす前より少し軽くなる。
- D 溶かす前の水の重さと同じになる。

(2) 図3のように、溶け残った食塩と食塩水を分けるために、ろ過をする。正しいビーカーの置き方をかき入れよ。

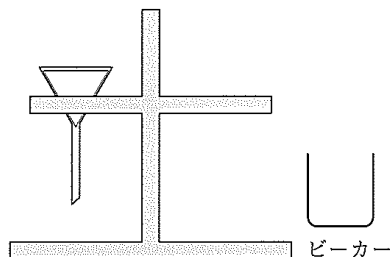


図3

(3) 60℃に温めた水にそれぞれミョウバンを溶けるだけ溶かして、ろ過したミョウバンの水溶液がある。この水溶液からミョウバンを取り出す方法を二つ答えよ。

問3 次の(1)、(2)に答えよ。

(1) 図4のような電磁石を使った魚釣りゲームを行って、電磁石の性質についての問題を見いだす活動を行いたい。クリップにつける魚にどのような工夫をすると「電磁石の強さを強くするにはどうしたらよいか。」という問題を見いだすことができるか。次のA～Dから適するものを一つ選び、記号で答えよ。

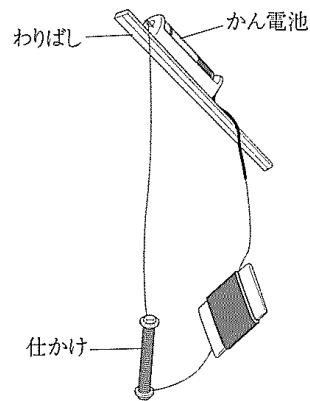
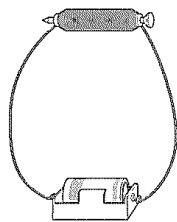


図4

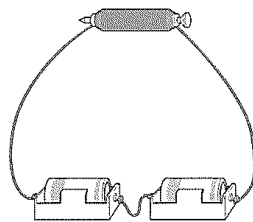
- A 色のちがう魚を準備する。
- B 大きさのちがう魚を準備する。
- C 形のちがう魚を準備する。
- D 重さのちがう魚を準備する。

(2) 電磁石の強さを調べる実験を行った。調べたい問題ア、イに対して、どの実験とどの実験を比べればよいか。下のA～Cからそれぞれ選び、記号で答えよ。

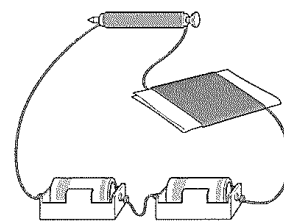
- ア 電流を大きくすると、電磁石の強さは強くなるか。
- イ 巻き数を多くすると、電磁石の強さは強くなるか。



A 導線の巻き数 200回



B 導線の巻き数 200回



C 導線の巻き数 100回

第5問題 生活科について、次の問に答えよ。

生活科の内容に「学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることがわかり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。」がある。楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようすることを学ぶ場合に、児童の身近にいて関わりをもたせることが考えられる人を答えよ。ただし、警察官等の公務員は除く。

第6問題 音楽科について、次の問に答えよ。

問1 図5は「春の海」（宮城道雄：作曲）の楽譜である。この教材を鑑賞の授業で指導する際に児童の思考・判断のよりどころとなる主な「音楽を形づくっている要素」は何に設定したらよいか、最も適切なものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

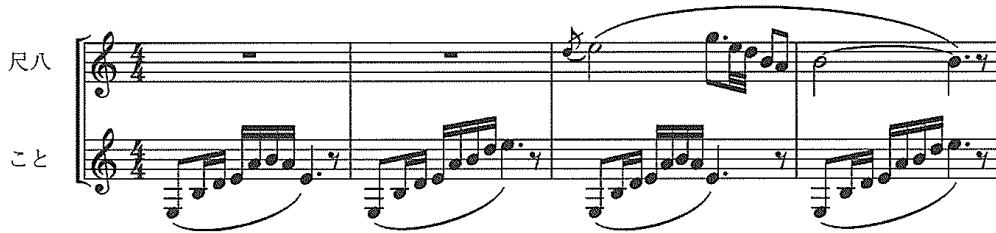


図5

- A 強弱      B 音の重なり      C 調      D 音色

問2 問1の鑑賞教材「春の海」（宮城道雄：作曲）を指導する際に、「言葉などで表す活動」を取り入れる工夫が考えられる。その指導の工夫のうち「言葉などで表す活動」として適切なでないものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

- A 心の中に描いた様々な情景や様子、気持ちを絵や図で表す。  
 B 曲や演奏のよさなどについて考えをもち、曲全体を聴き深める。  
 C 想像したことや感じ取ったことを、体の動きで表す。  
 D 自分が見いだしたよさなどについて、音楽的な理由と関わらせながら友達と対話を重ねる。

第7問題 図画工作科について、次の問に答えよ。

問1 第6学年において、彫り進み木版画（一版多色版画）を行う。2回目の刷りの時に、彫った部分と色がつく部分との関係について適切な説明をA、Bから一つ選び、記号で答えよ。

- A 彫った部分に色がつく      B 彫った部分に色がつかない

問2 第6学年において、次の文に示された指導事項はどの活動を通して行うものであるか、A～Cから一つ選び、記号で答えよ。

材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付くことや、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること。

- A 造形遊びをする活動      B 絵や立体、工作に表す活動      C 鑑賞の活動

第8問題 家庭科について、次の問に答えよ。

問1 次のア～オは、季節に応じた日常着の着方や住まい方に関する記述である。正しい記述の組み合わせをA～Fから一つ選び、記号で答えよ。

ア 冷房を使用すると室内の二酸化炭素濃度が上昇するため、換気を行うようにする。

イ 冬は気温が低いため、窓の外を植物でおおうことで室内の温度を上げる。

ウ 夏の暑い日は、空気を外に逃す形の衣服や着方を選ぶ。

エ 重ね着をすることで、体と衣服の間に空気の層ができ、暖かく過ごすことができる。

オ 冬に効率よく採光する必要があるのは、日が出ている時間が短く、気温が低いためである。

A ア イ エ          B ア ウ オ          C ア エ オ

D イ ウ エ          E イ エ オ          F ウ エ オ

問2 第6学年で1食分の献立を考える学習を行った。次の表1は、児童が考えた献立の一部である。主食・主菜・副菜が正しく選択された献立の組み合わせをA～Fから一つ選び、記号で答えよ。

表1

献立	主食	主菜	副菜
ア	米飯	さばのみそ煮	きゅうりの酢の物
イ	ロールパン	さけのムニエル	具だくさんオムレツ
ウ	米飯	野菜スープ	マーボー豆腐
エ	米飯	豚肉のしょうが焼き	ほうれん草のごまあえ
オ	ロールパン	ちくわのピカタ	グリーンサラダ

A ア イ エ          B ア ウ オ          C ア エ オ

D イ ウ エ          E イ エ オ          F ウ エ オ

第9問題 体育科について、次の問に答えよ。

問1 第1学年及び第2学年で、「器械・器具を使つての運動遊び」の指導を行う。

思考力、判断力、表現力等の育成を図るために、1、2年の児童に器械・器具を用いた簡単な遊び方を選ぶための工夫を取り入れて指導したい。遊び方を選ぶための工夫としてあてはまるものを(1)、(2)の運動遊びごとにA～Cから一つ選び、記号で答えよ。

(1) マットを使った運動遊び

- A 着手する位置に目印を置くこと
- B 坂道やジグザグなどの複数のコースを設定すること
- C グループの中で互いに役割を決めて観察し合うこと

(2) 鉄棒を使った運動遊び

- A 技を繰り返したり組み合わせたりすること
- B 学習カードや掲示物に技のできばえを記録すること
- C 手や足、腹でぶら下がった姿勢でじゃんけんをすること

問2 第1学年及び第2学年で、「鬼遊び」の指導として、下の図6のような「ボール運び鬼」に取り組んだ。相手の陣地にボールを運ぶことが苦手な児童には、どのような配慮が考えられるか、例を一つ記せ。

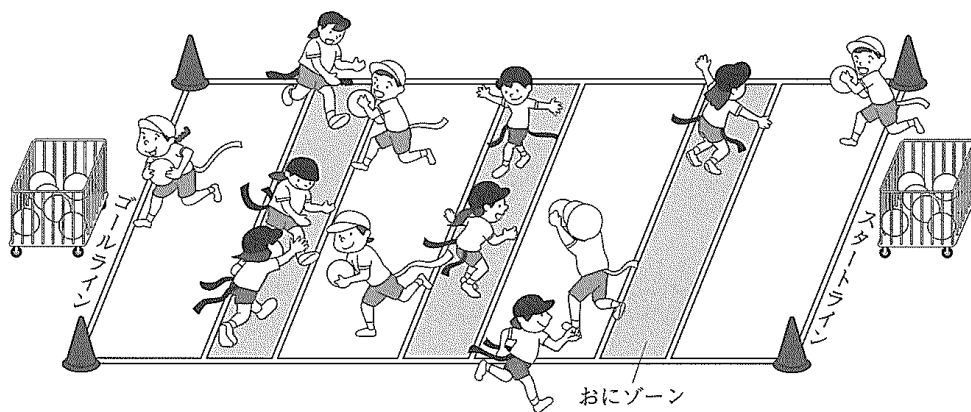
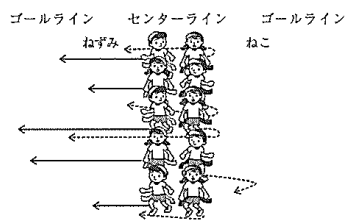
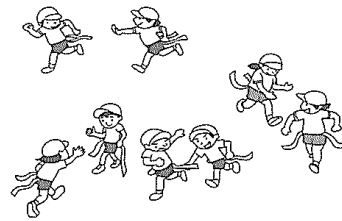


図6

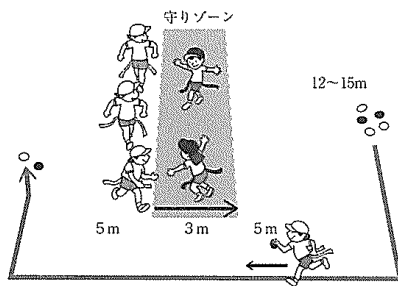
問3 指導要領解説「体育編 第2章 体育科の目標及び内容 2 第1学年及び第2学年の内容 E ゲーム イ 鬼遊び」の例示項目である「宝取り鬼」の行い方を示すものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。



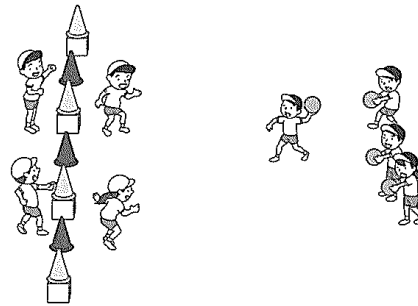
A



B



C



D

## 第10問題 外国語科について、次の問に答えよ。

問1 次の指示文の（ ）にあてはまる語句として適切なものをア～エから一つ選び、記号で答えよ。

Today's topic is about time. Now, we are going to sing "Hickory, Dickory, Dock". The song is about time. First, ( ) the song's words after Bob sensei. After practicing the words, let's sing it with actions. Are you ready?

ア answer      イ present      ウ repeat      エ show

問2 次の学級担任と ALT の授業準備をする対話において、（ ）にあてはまる文として適切なものをア～エから一つ選び、記号で答えよ。

Mr. Fukui : My students have made their town map in my comprehensive studies class. I gave them a map that has the main streets and the river on it. They added other places to the map.

Lucy : Its purpose is to guide someone through your town, right?

Mr. Fukui : Exactly. The students have completed this town map.

Lucy : Oh. That's excellent. So, they must have been excited about making the town map.

Mr. Fukui : By the way, we also have a topic called "Where is the post office?" in our English lesson.

Can we integrate this study into our English lesson?

Lucy : Yes, they learned a lot about the town. ( )

Mr. Fukui : That sounds like a good idea.

ア How about giving the students a lot of information about drawing the town?

イ How about having the students make an English town map for foreign guests?

ウ What kind of map should the students create to represent the town?

エ What kind of map do the students have to use as a reference for drawing the town?

## 第11問題 特別の教科 道徳について、次の問に答えよ。

次の A ～ D のうち適切でない指導を二つ選び、記号で答えよ。

A 道徳的価値の自覚を一層深めることをねらって、第4学年において公德心に関する主題について2単位時間にわたって指導した。

B 指導者が、ある日の休憩時間に、担当するクラスで、ある児童が友達をからかって泣かせる様子を見つけたので、その日の午後に、担任の裁量で道徳の時間を公德心にかかわる指導から、友情の指導に変更した。

C 第5学年において道徳の内容項目「生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する」について学習する際に、理科の学習との関連を図るために、同じ時期に指導できるように昨年度の年間指導計画の配列を変更した。

D ボランティア活動などの豊かな体験活動を重視して、道徳の時間に地域の一人暮らしのお年寄りの家庭を訪問する活動を実施した。



## 第12問題 総合的な学習の時間について、次の問に答えよ。

第6学年の総合的な学習の時間において、地域に残る文化財を調べる学習で、地域の歴史に詳しい外部講師を招いて学習を行うこととした。その際、事前の外部講師との打合せ会を計画した。資料9はその際の指導者が外部講師に伝えた概要である。

## 資料9

- ①6月25日は3時間目に行いますので、10時までに学校にお越しください。
- ②始まったら、私（指導者）がその時間のめあてを子どもと確認してから、Aさん（講師）を紹介します。その後はAさんからお話をお願いします。最後に全体でのまとめと個人の振り返りは私が行います。
- ③学習のねらいは、「地域に残る文化財について知り、自分でさらに調べてみたいことを考える」です。
- ④学級の子どもたちはとても楽しみにしています。ただ、Bさん（児童）は普段から人の話を聞かないので私が横についています。
- ⑤授業が終わった後で、可能でしたら短時間で結構ですので、気がつかれたことをお聞かせ願えたらと思います。

①～⑤の発言のうち、適切でないものを一つ選び、記号で答えよ。また、その理由を記せ。

## 第13問題 特別活動について、次の問に答えよ。

学級のボールの使い方について学級会で話し合いをする。配慮することとして、適切でないものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

- A 一部の児童に有利なきまりが決定されないようにする。
- B 様々な理由できまりが守れない状況があることに気付くようにする。
- C 進行が得意な児童に司会を任せ、円滑に話し合いが進むようにする。
- D 全員が自由に意見交換できるようにする。